

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和5年2月15日

「^{ふるさと}手づくり郷土賞」認定証伝達式を斜里町で開催します

～「しれとこ・ウトロフォーラム21」が全国で唯一の大賞部門を受賞～

令和4年度「^{ふるさと}手づくり郷土賞」（国土交通大臣表彰）の認定証伝達式を、以下のとおり斜里町において開催します。

伝達式では、北海道開発局長から受賞団体（しれとこ・ウトロフォーラム21）に認定証及び副賞の楯をお渡しします。（式次第は「別添1」参照）

国土交通省では、地域の魅力や個性を創出している社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を「^{ふるさと}手づくり郷土賞」（別紙「参考資料」参照）として表彰しています。

令和4年度は全国各地から応募のあった大賞部門6件の中から、優れた取組として「しれとこ・ウトロフォーラム21」が全国で唯一の大賞に選定されました。（活動の詳細は「別添2」参照）

【認定証伝達式】

受賞件名：知床のガードレール雪かきプラス！

～真冬の避難・命を守るまちづくり～

受賞団体：しれとこ・ウトロフォーラム21（斜里町）

日時：令和5年2月22日（水）11：00～

場所：斜里町役場 2階大会議室（斜里郡斜里町本町12）

※伝達式（認定証伝達・副賞贈呈）は公開で行います。取材を希望される方は、「別添3」の申込書により2月17日（金）17時までにお申し込み願います。

※取材される場合は、伝達式開始時間の10分前（10：50）までに会場にお越しください。

※記念撮影終了後に、受賞団体との取材時間をご用意します。

※新型コロナウイルス感染対策のため、取材の際にはマスクの着用をお願いします。

※新型コロナウイルス感染拡大状況によって、開催方法の変更又は開催中止となる場合があります。その場合は取材を希望されている方へ、前日までに連絡をさせていただきます。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調整課 開発調整推進官 藤田 純一（内線 5475）

開発監理部 開発調整課 上席開発計画専門官 風間 隆之（内線 5470）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和4年度「手づくり^{ふるさと}郷土賞」認定証伝達式

受賞件名 知床のガードレール雪かきプラス！～真冬の避難・命を守るまちづくり～

受賞団体 しれとこ・ウトロフォーラム21

日 時： 令和5年2月22日(水) 11:00～11:30

場 所： 斜里町役場 2階大会議室

(斜里郡斜里町本町12)

1. 開 式
2. 認定証伝達・副賞贈呈（北海道開発局長）
3. 挨拶（北海道開発局長）
4. 祝 辞（斜里町長）
5. 講 評（野澤委員長）
6. 閉 式
7. 記念撮影

令和4年度 手づくり郷土賞 認定案件概要(北海道内)

【大賞部門】 知床のガードレール雪かきプラス
～真冬の避難・命を守るまちづくり～

(北海道・斜里町)



雪かき実施状況



地区防災計画意見交換会

<活動内容>

道路沿いの除雪後に生じる雪壁によって流氷景観が損なわれる課題を解決し、来訪者に流氷景観の魅力を提供するため平成19年度から雪かきボランティアを開始。活動によって流氷景観を楽しむ来訪者が増えたほか、参加者である地域住民や企業、観光客の一体感や道路に対する親しみを向上させている。参加者は年々増加し、平成28年度以降は毎年100人以上が参加している。平成30年度からは冬期避難訓練との連携実施をはかり、斜里町ウトロ地区の地域住民や観光客の防災意識を高め、冬の災害に対する備えの充実に貢献している。

<地域活動団体>

しれとこ・ウトロフォーラム21

北海道開発局 開発調整課 宛 (FAX 011-709-9215)

申込書（報道関係者）

令和4年度 手づくり郷土賞認定証伝達式

日 時：令和5年2月22日（水）11時00分～
場 所：斜里町役場 2階大会議室（斜里郡斜里町本町12）
受賞件名：知床のガードレール雪かきプラス！
～真冬の避難・命を守るまちづくり～
受賞団体：しれとこ・ウトロフォーラム21

氏 名

住 所

所属（会社名等）

連 絡 先

- ※ ご提供いただいた個人情報は、令和4年度手づくり郷土賞認定証伝達式に関する連絡以外では使用しません。
- ※ 新型コロナウイルス感染対策のため、取材の際はマスクの着用をお願いします。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大状況によって、開催方法の変更又は開催中止となる場合があります。その場合は取材を希望されている方へ、前日までに連絡をさせていただきますので連絡先は必ず記載をお願いします。

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和4年度で37回目。

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和4年度）

委員長	野澤 康	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	小浦 久子	神戸芸術工科大学 芸術工学部環境デザイン学科 教授
委員	斉藤 俊幸	イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授

(敬称略)